

## 記事詳細

[記事一覧に戻る](#)

## 照島小砂防ダム教室 (2015/10/09 4面)

ダム実験に大歓声 / 建設業青年部会串木野支部



県建設業青年部会串木野支部(小原雅史支部長)は8日、いちき串木野市の照島小学校で、砂防ダムの役割を伝えながら建設業をPRする砂防ダム教室を開いた＝写真＝。

活動は、県建設業協会人材育成対策室が進める担い手育成プログラムの一環。同青年部からは、小原支部長、満留智史部員、窪田龍之亮部員の3人が協力した。

5年生の理科の授業を利用し、2クラスで実施。月組の授業では、児童24人が砂防ダムと公共工事の必要性などを学んだ。



授業では、マンガで図解した「砂防読本」をもとに、土砂災害の特長や災害の種類について説明のあと、同対策室作成によるダム模型を使った災害実験が行われた。

水と同時に土石流に見立てた石やビー玉を流す実験では、砂防ダムがある場合とない場合での違いを体験。砂防ダムが災害を食い止める様子に見童からは大きな歓声が上がっていた。



アンケートで「命はお金に変えられないとあらためて感じた」と書いた中村瑠依さんは「模型の実験は分かりやすく楽しかった」と感想。小原支部長は「業界のイメージアップにつながり、子供たちにすこしでも建設業に興味を持ってもらえたら」と語った。

[更新:2015/10/09 No:685403]